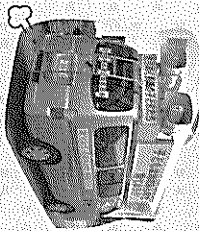


今回は、西山台を広報しながら村松小学校、岩屋中学校におじゃましました！

平成27年12月6日（日）広報啓発キャンペーンに参加

広報啓発専門委員長 島崎 克比古

村松小活動



もちつき大会に訪問。幼児・小学生・中学生・高校生・保護者・地域の方の約500名が参加していました。高校生が小学生に教えながら一緒に餅つきを楽しんでいる姿と笑顔や掛け声がある世代間交流をみて感動しました。

岩屋中活動

交通安全・防犯講話・もちつき大会に訪問。以前は地区の清掃活動に奮闘していたのですが、地区の人々や多くの企業が手伝い美化に取り組むようになり、子どもたちと共に安全、安心の街づくりとして、防犯・防犯・安全について皆で考える場となっている。車社会の便利さと多くの危険性が同居する生活は、私たちが考える以上に過酷だろうと感じました。



「かっこいい」「おいしい、きなこ餅、おいしかったです。」

双方の育成協活動に世代間交流をみて、子どもたちに対する暖かい思いを感じられました。

子どもゆめフェスティバル2015

子どもゆめフェスティバル '15が平成27年11月28日（日）に長崎県立総合体育館で開催されました。約1,500名の方々にお越しいただき、会場内は子どもたちの歓声で大いに賑わいました。ありがとうございました。来年も皆さんのお越しをお待ちしております！！

ボールゲーム



子どもたちによる、こどもたちのもてなし

ねんりんピック長崎2016のPRに



ねんりんピック長崎2016のPRにがんばくん、らんぼちゃんが出来てくれました。

ダンスギターサークル



編集後記

今回は、広報誌コンソールの様子と三地区の育成協の活動報告をメインに掲載しました。他地区の活動の参考になればと思います。「長崎市よかまちづくり基本条例」が制定されました。まちづくりとは、道路などのハード面だけでなく、人と人のつながりなどのソフト面も大切な要素になります。「自分たちのまちは、自分たちでよくする」とは、子どもたちを取り巻く環境も、地域みんなの努力で良くしていくことが出来る、ということではないでしょうか。

のびゆく長崎っ子 80

今号の内容

- ★第22回広報紙コンソール表彰式
- ★活動事例発表会
- ★長崎市よかまちづくり基本条例
- ★広報啓発キャンペーン
- ★子どもゆめフェスティバル '15
- ★編集後記

第22回広報紙コンソール表彰式

平成27年度長崎市青少年育成協議会活動事例発表会



第22回 広報紙コンソールで次の育成協の皆さんが表彰されました。おめでとございます。

表彰者

- ★「グランド」 小倉中学校区青少年育成協議会
- ★「つらな」 片瀬中学校区青少年育成協議会
- ★「だんはら」 大浦中学校区青少年育成協議会
- ★「記事賞」 土井音中学校区青少年育成協議会
- ★「写真賞」 江平中学校区青少年育成協議会
- ★「シアウト賞」 小島中学校区青少年育成協議会
- ★「キッツコピ賞」 香焼中学校区青少年育成協議会
- ★「全長賞」 女の都小学校区青少年育成協議会
- ★「ほごおさん」 山里小学校区青少年育成協議会
- ★「ごどもみらい課長賞」 山里小学校区青少年育成協議会

今年度は21の育成協からエントリーがありました。前年度「かぐらがクマノリ」を受賞した式見中学校区青少年育成協議会には、今年度の審査員に加わっていただきました。

平成27年度 青少年育成協議会活動事例発表会

平成28年2月6日(土)、平成27年度青少年育成協議会活動事例発表会が開催されました。小江原中学校区青少年育成協議会、北陽小学校区青少年育成協議会、東長崎中学校区青少年育成協議会から、活動について熱心な発表が行われました。また、昨年8月、子どもゆめ体験に参加した中学生による活動報告も行われました。(ゆめ体験については前号に記事掲載。) 3つの育成協の活動発表の概要についてご紹介します。

小江原中学校区青少年育成協議会

会長 里見 浩則

三つの小学校(小江原小、桜が丘小、手熊小)と一つの中学校からなり、児童・生徒数の合計1,019人、住民人口9,623人、明治9年創立した手熊小学校から平成5年創立の桜が丘小学校と歴史と特色ある伝統文化を持つ手熊・栴泊地区と小江原、桜が丘地区の大きな町の新しい文化が混在。副会長に小学校区を代表する自治会長3名と4校のPTA会長、顧問に各学校の校長先生。それにより地域・保護者・学校が連携できる構成になっていきます。

年間を通じた活動は、保護者を中心とする専門部(育成部、環境部、広報部)で、地域のペーロン大会への協賛参加、稲佐山クワリーン作戦、広報誌の発行、親睦バレーボール大会、懇親会など。そのなかで特徴的な活動が次の二つです。

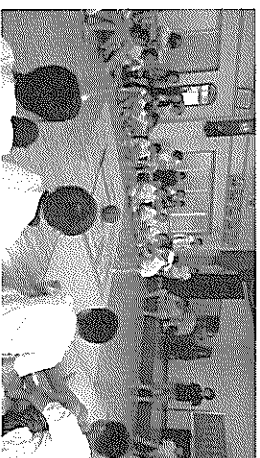
1. 交流ダイキヤンプ

長崎・東日本大震災子ども支援事業(平成24年度民間ボランティア活動)で福島県いわき市の児童20名を受け入れたことがきっかけで、その後は小江原・桜が丘・手熊の3校交流として継続。ペーロン体験、海水浴、スイカ割り子ども達の親睦が図れる。

2. こども文化祭

これまでの小中学校弁論大会を子ども文化祭として、キッズダンスや日本舞踊の舞台発表、習字や絵画の展示をし、子ども達の日常の様子を垣間見れるようにとリニューアル。ノンビリ化する行事を見直し、目先を変え活性化の取組みとして実施。今年はい江原中学校で開催。

今後の課題として、広範囲での構成団体のため行事日程の調整連携強化。活動の収入源として自治会等からの補助などの確保。学校・PTA以外の団体との協力体制構築及び強化。近隣の西公民館区育成協との交流活動があります。今後も子ども達の健全育成の環境向上に努めて行きたいと考えています。



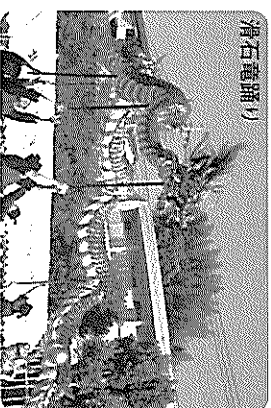
北陽小学校区青少年育成協議会

副会長 平 たけし

昭和40年代の高度成長期に長崎市のベッドタウンとして開発された滑石地区。地区内には4つの小学校と3つの中学校があり、地区の北部に昭和45年に開校したのが「北陽小学校」(現在は校長・尾下和彦、児童数323名、職員28名)で、その校区で地域活動に取り組んでいるのが「北陽小育成協」です。

活動は情報交換や行事準備のための定例会、防犯活動やパトロール、「学校キャンプ」と「北陽夏まつり」は二大ビッグイベントです。なかでも「学校キャンプ」は校舎に親子が雑魚寝するというキャンプで、ゲーム遊びやスイカ割り、昔遊び、カレー作り、そうめん流しなどお楽しみが盛りだくさん!児童はもちろん、大人も一緒に楽しむことができます。また「北陽夏まつり」には、近隣中学の吹奏楽部や舞踊部など地域の人も多く出演し、さらに今年度は「滑石電踊り」も出演し、「もってこ〜い!!」

北陽夏祭り

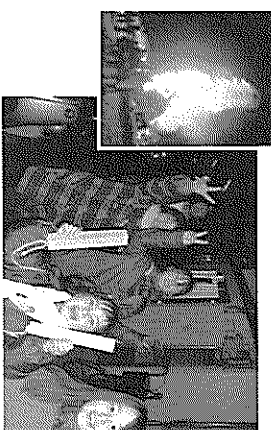


敏声が飛び交い会場も大盛り上がり!!滑石団地ができて間もなく50年。デジタル時代の到来でスピード化は年々進んでいますが、すれ違う人同士が挨拶を交える人間味溢れた町を目指し、これからもメンバー丸となって活動を続けていきたいと思っています。

矢上地区青少年健全育成協議会

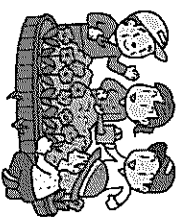
会長 武本 家彦

青少年健全育成協議会の主な行事について紹介します。40年以上に亘り矢上小・高城台小学校区の15会場(23自治会)で子育てに関する情報交換の場として「地区懇談会」を行ってきた。学校が夏休みになる7月下旬に住民・教員(小学校・中学校)・PTA・自治会役員・老人会・民生委員などが集まり、子どもの健全育成について話し合う一種のコミュニケーションである。500名以上が子育てに関する情報を共有する機会を持ち重層的な子育て支援を行っている。子育てに関するテーマを掲げるものの特別に何かを決める会議ではなく「情報を共有し課題を確認する場」である。その中で毎回思うことは、少年期・青年期における大人への成長は、両親や学校教員だけでなく、地域、血縁などの近所の方々、伯父・叔母などに支えられて子どもは少しずつ大人になっていく。親と子・教師と子どもとの「縦の関係」に併せて地域住民との関係「斜め関係」が「力強い子育て力」になると考える。SNSなど新しいコミュニケーション手段も魅力的であるが「生身の人」との実体験こそが若者の「人間関係力」を高めることになる。少しずつではあるものの若い親にその辺りの気付きがみられ始めている。青少年健全育成協議会の活動は毎年同じような活動にも見えるが「継続は力なり」、続けることが新しい世代を支えることになる。今後も関係機関と連携して活動していきたい。



長崎市よかまちづくり基本条例

平成27年12月1日スタート!



まちづくりの大事なルールができました!

どんな条例なの?

まちづくりの基本的な考え方やルール、まちづくりのさまざまな担い手の役割分担などを定めています。市民の皆さんや、議会、行政など、あらゆるまちづくりの担い手が、

長崎のまちをみんなであつくる

自分たちのまちは自分たちでよくする

という気持ちを共有し、参画と協働によるまちづくりに取り組むための条例です。

「長崎のまちをみんなであつくる」には、3つのルールが大切です!(まちづくりの基本原則)

情報共有

情報をお互いに出し合えば、まちづくりへのアイデアが生まれます。お互いの考えへの理解も深まります!

参画

みんなが当事者意識をもって、できる範囲でできることに取り組むことで、自分たちのまちをもっとステキに!

協働

それぞれの立場を理解し、様々な分野で強みを出し合い、つながることで、大きなパワーが生まれます!

「長崎のまちをみんなであつくる」取組みには、例えばこんなものがあります!

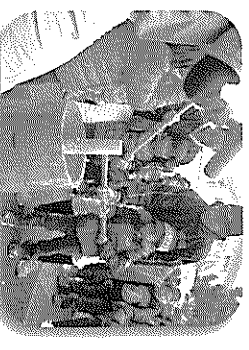
地域防災活動



子どもを守るパトロール



育成協の活動



長崎市ではこれまで、青少年育成協議会をはじめ、さまざまな市民や団体の皆さんがまちづくりの取り組みを行ってきました。この条例は、こうした皆さんの活動の後押しになるものと考えています。

※詳しくは、市ホームページに掲載しています。 問い合わせ先：長崎市都市経営室 095-829-1111